

おつぎわ 議会だより



中学生海外交流事業
シンガポールからビティナー校来校

第3回議会定例会

令和7年第3回議会定例会が9月4日から25日にかけて開催されました。

主な内容は令和6年度の決算認定で、決算審査特別委員会において審査を行い、指摘要望事項を付し、全会計認定しました。

提出された議案6件、諮問1件は原案通り可決されました。また、一般質問では、5名の議員が町政を質しました。

令和6年度の主な事業

こども園・中学校エアコン設置工事



ラジコン式草刈機



シンガポール交流再開



(令和7年度実施)

高齢者の移動手段





決算審査特別委員会

決算の認定

(認定第一号)

令和6年度睦沢町一般会計ほか3特別会計、並びに下水道事業会計歳入歳出決算

9月5日の定例会において議員全員で構成した決算審査特別委員会に付託された各会計決算は、9月17日、18日の2日間により審査しました。9月25日の定例会に委員長から結果報告があり、討論の後、それぞれ採決により認定しました。

決算審査特別委員会審査結果報告

決算審査特別委員会 委員長 田邊明佳

○審査の対象

令和6年度一般会計決算
令和6年度国民健康保険特別会計決算
令和6年度介護保険特別会計決算
令和6年度後期高齢者医療特別会計決算
令和6年度下水道事業会計決算

○審査結果

審査の結果、令和6年度睦沢町一般会計決算、ほか3特別会計、並びに下水道事業会計決算については、指摘要望事項を付して、原案のとおり認定することに決定しました。

○指摘要望事項

(一) 農地やその付帯設備など地域の環境整備は、町の景観を形成する重要な役割を担っている。地域によって担い手不足

により、その活動の継続が大変厳しくなっている。今後も農家の減少や農家以外の担い手不足も加速すること、環境整備ができなくなる地域が増えることが予想される。
町の特徴である美しい景観を維持するために、具体的な対応策の検討に取り組まれるよう要望する。

(二) 文教施設、社会福祉施設などの設備は、機能不全となつて更新等することが多く、設備の機能が不十分な状態で施設の運営を継続し、それが原因となる事故などが発生した場合、その責任は非常に大きなものとなる。施設は安全で利用者が快適に利用できるよう設備は、常に正常な状態が維持されるよう更新や点検整備費など、十分に精査し必要な処置を講ずるよ

う取り組まれたい。

(三) 国民健康保険特別会計は、保険税率の改正を行い、一般会計からの法定外繰入の抑制に努められた。しかし、収入未済額は多く今後もより一層の削減に努められたい。また、事業面では医療費分析を行っており、今後の健康課題の把握に役立て、医療費の適正化をさらに強化されたい。被保険者数の変動はあるが、引き続き保険会計の公平性を遵守し、国民健康保険特別会計の財政基盤を守る努力をされたい。

※不用額について

この決算審査では不用額を確認することが多々ありました。不用額については、支払いの見込みがなくなったものは補正すること、他の事務事業の財源に充てることも



現地調査 (こども園・パークむつざわ)



出来ると思います。限られた予算の中で多くの住民サービスを行わなくてはなりませんので、予算については適正に事務処理されるようお願いしたいと思います。

総括質疑

一般会計

中学校改築・耐力度調査

問 耐力度調査の結果について伺います。

総務課長 危険校舎と判定され補助金の申請の対象となります。補助金は約3億1千万円になる見込みです。

環境整備・草刈り

問 高齢化・担い手不足で地域の草刈り作業の実施が困難となっています。県等にどのような要望をしたのか伺います。

建設課長 県に対して委託金の増額、作業範囲の追加、竹木伐採の継続などを要望しています。

健康・子育て施策

問 各種計画、施策の成果について伺います。

健康保険課長 健康講演会（糖尿病予防）などで

成果がたと分かるものではありませんが、医療費は抑制傾向にあります。

妊婦・子育て世帯に対し、伴走型支援をしています。

また出産応援金として、妊婦1人当たり5万円、出産後に、子ども1人当たり5万円を給付しています。

問 保育士不足でこども園入園を「保留」としたが、子育てしやすい町とされている以上、保留も待機もあつてはいけないと思うが考えを伺います。

町長 待機児童ではなく保護者と調整した結果の入園保留となります。

道の駅・地域拠点機能

問 町の産業、健康に対してどれだけ役立っているのか伺います。

企画財政課長 お風呂の利用者がかなり少なくなっていますが、夏休みには、子どもの学習支援のつどいの寺子屋というものも実施しています。

今年度は、防災キャンプを実施しました。

拠点として町民が集えるようなイベントなどを考えていきます。



防災キャンプ

川島グリーンタウン

問 売れ行きはどうですか。

企画財政課長 13区画中4区画が購入されており、今年度も1件売れ、残りの12区画も分譲を始めました。

駅、学校に近く環境は良いが建築費の高騰や、需要の停滞もあります。中長期での販売計画ですが、もっとアピールが必要と考えます。

クーリングシェルター

問 クーリングシェルターについて伺います。

健康保険課長 4施設で設置されましたが、利用者等の実績報告は求めていますので人数の把握はできていません。今後も周知を強化します。



クーリングシェルター

問 一人暮らしの高齢者が利用しづらい原因を分析すべきではないですか。

移動手段不足などを含め、社会福祉協議会や民生委員と連携し、声かけ・送迎などの支援を検討すべきではないですか。

健康保険課長 本年度、郵便局2ヶ所を新規追加し、計6ヶ所に拡大しました。「熱中症ゼロプロジェクト」

ト」に加盟し、ポスター・リーフレット等を配布しています。また、民生委員会議で周知、配布を依頼しています。

利用は基本的に自力で来所する想定ですが、社協との連携でチラシ配布等を強化していきます。

PR力の強化

問 各種施策のPR力の強化について伺います。

企画財政課長 SNSの登録者数が伸びない状況です。

今後クラウドファンディング型のふるさと納税も検討しています。町の事業等のPRにもかなり寄与するので、今後検討します。

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について

問 10万円給付以外で、町独自の使い道を伺います。

企画財政課長 2千315万円のうち、肥料等価格高

国民健康保険特別会計

徴税体制

騰対策支援金に60万2千円、エネルギー価格高騰緊急対策支援金、農業者に対して23万1千円、また商工業者に対して1千315万1千円、福祉タクシー助成事業に160万6千円を使用し推奨事業分はすべて支出しました。

教育振興基本計画と郷土の誇りについて

問 「郷土を誇りに思う心」を掲げるが、町長・教育長の郷土の誇りとはなにか伺います。

町長 「人情と温かみ」町を離れたときに「帰りたい」と思えるつながりこそが誇りだと考えます。

教育長 「人のつながり」「コミュニティ・スクールを通じて地域と学校が連携し、子どもが地域の力を感ずる経験を進めております。

生きる力の基盤はコミュニケーション能力であり、授業内でも意識的に取り組んでいます。

一般会計

反対討論

松島和子 議員

みどりの広場の開設、テント設置や夏場の開所時間延長、自転車ヘルメット購入補助、通学路整備、スローフォーキッズの取り組みなど、子どもの安全や住民の安心安全の施策に取り組みられたことは高く評価します。

しかし、各課の不用額が多く、その一部を活用すれば、公民館やバスの使用料の値下げ、学校給食や教材費の無償化による子育て支援、福祉タクシーの利用枠拡大による高齢者支援、農業後継者育成による持続可能な農業振興などが可能です。

より住みやすい睦沢町を目指す立場から、一般会計決算に反対します。

賛成討論

小川清隆 議員

中学校建設や自主防災組織の支援が着実に進められ、防災力向上や住民交流の場づくりといった取り組みも評価できます。

一方、税収の伸び悩みが課題となっているため、自主財源の確保が求められます。

今後も健全な財政運営に期待し、賛成とします。

賛成討論

米倉英希 議員

人口減少や高齢化、物価高騰という厳しい状況の中でも、町長と職員が丸となって事業の精査や歳出削減、財産運用を進め、教育施設整備基金を大幅に積み増したことが高く評価されます。

学校建設を着実に進めながらも福祉サービスや人口対策など、今後も町民福祉の向上に期待し、賛成します。



防災フェア ヘリ救出訓練

国民健康保険特別会計

反対討論

松島和子 議員

住民からは依然として「国保税が高い」という声が多数寄せられています。国保加入者の半数以上は前期高齢者であり、医療費がかかるのは必然です。町や個人の努力だけでは限界があり、国の補助金増額こそ必要です。よって反対します。

賛成討論

三橋優一 議員

被保険者数の減少にもかかわらず、税率改正により歳入は増加しました。高齢化に伴い医療費は高止まりし厳しい財政状況ですが、一般会計からの繰入を抑制できたのは医療費適正化の成果であると思います。今後は収納率向上と健康増進施策を充実させ、健全な財政運営を進めるよう求め賛成とします。

介護保険特別会計

反対討論

松島和子 議員

介護保険料の段階が15段階に改定され、介護支援専門員の担当人数も増加しました。

また訪問介護報酬の改定も行われましたが、町内の事業所は訪問介護1ヶ所、通所2ヶ所と限られています。

制度当初の目的である「高齢者の自立支援」「家族の介護負担軽減」「社会全体で支える仕組み」は次第に実現困難になってきています。この状況を鑑み反対します。



介護予防事業

賛成討論

島貫孝 議員

要介護者やサービス利用者は増えていますが、施設利用者の減少により給付費は抑えられています。

歳入面では基金の活用や保険料の見直しで収納率が向上し、町民負担を抑えた安定運営をしています。

地域包括支援センターは高齢者や家族の相談窓口として、認知症対策にも積極的に取り組んでいます。

住み慣れた地域で安心して暮らせる基盤を強化する内容であり、今後の介護予防とサービス充実を期待して賛成します。

後期高齢者医療特別会計

反対討論

松島和子 議員

この制度における町の関与は限定的ですが、令和6年度から保険料が改訂され、全国で6割の方が負担となりました。

また、出産育児一時金の上乗せに伴い、現役世代の負担増や世代間分断の議論もあります。

しかし、誰もが年をとり、やがて後期高齢者となります。世代を分断する制度ではなく、安心して年を重ねられる社会の構築を目指すべきです。その立場から反対します。

賛成討論

久我眞澄 議員

被保険者数は団塊の世代が75歳に到達したことにより、県全体でも給付費が増加傾向にあります。

本町の1人当たりの医療給付費は県平均より低く、保険料収納率も高水準を維持しています。

これらは被保険者の理解と制度周知の成果であると考え、今後も給付費増加が見込まれるが、公平な負担を確保し、広域連合と連携して健全な運営を進めるべきとして賛成します。



令和7年第3回定例会 議員別表決結果一覧

	議案等	審議結果	田中 リ工	三橋 優一	松島 和子	島貫 孝	小川 清隆	久我 眞澄	伊原 邦雄	田邊 明佳	中村 勇	市原 重光	米倉 英希	麻生 安夫	議案概要
認定 第1号	令和6年度睦沢町一般会計歳入歳出決算	可	欠	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—	歳入総額 4,627,331千円 歳出総額 4,412,527千円 差引額 214,804千円
	令和6年度睦沢町国民健康保険特別会計歳入歳出決算	可	欠	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—	歳入総額 911,377千円 歳出総額 898,502千円 差引額 12,875千円
	令和6年度睦沢町介護保険特別会計歳入歳出決算	可	欠	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—	歳入総額 854,000千円 歳出総額 807,344千円 差引額 46,656千円
	令和6年度睦沢町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	可	欠	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—	歳入総額 135,368千円 歳出総額 133,878千円 差引額 1,490千円
	令和6年度睦沢町下水道事業会計決算	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	収益的収入 77,276千円 収益的支出 76,275千円 資本的収入 26,145千円 資本的支出 28,860千円
議案 第1号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	法律の改正に伴い条例を改正するもの 「部分休業の取得幅を拡大」
議案 第2号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	法律の改正に伴い条例を改正するもの 「休業後の復職前に取得可能な制度の確認を行う」
議案 第3号	財産の取得について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	GIGAスクール構想により整備した パソコン端末の更新 ※対象学年あり
議案 第4号	令和7年度睦沢町一般会計補正予算(第3号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	4千823万1千円を追加し、歳入歳出それぞれ、42億1,856万2千円とするもの
議案 第5号	睦沢町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	藤原雪枝氏の任命につき議会の同意を求めるもの
議案 第6号	令和7年度睦沢町一般会計補正予算(第4号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	397万1千円を追加し、歳入歳出それぞれ、42億2,253万3千円とするもの
諮問 第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	飯塚史美代氏の推薦につき議会の意見を求めるもの
報告 第1号	令和6年度睦沢町健全化判断比率について														実質赤字比率、連結実質赤字比率共に該当なし。公債費の減少、各基金の積立額の増加による
報告 第2号	令和6年度睦沢町下水道事業会計資金不足比率について														使用料金の改定等により農業集落排水事業、特定地域生活排水処理事業に資金不足は生じていない
報告 第3号	令和6年度睦沢町一般会計継続費精算報告書について														地デジ難視対策維持管理事業に係る一般会計継続費の清算報告による

※表の見方 ○：賛成、×：反対、欠：欠席、退：退席、除：除斥、議長は表決に加わらないため「—」で表示

町政の課題を問う

一般質問

島貫 孝 議員



体育館にエアコン設備を

町長 費用・技術・断熱性能の低さから困難と考えます

設備不具合と優先順位

問 中学校の一部の教室で、教卓の上の照明が故障して、照明がつかない状況があり『新校舎の建設が決まっているから、既存の校舎を直してくれないのか』と心配する声が聞かれます。

園・小・中、それぞれに不具合や、改修が必要な設備はあると思います。現状で把握している不

具合、改修が必要な設備について、教育委員会が考える優先順位を伺います。

教育長 こども園では、施設内電気のLED化、遊戯室脇トイレの洋式化及び園庭遊具の改修。

小学校では家庭科室、相談室のエアコンの設置。体育館、小窓の修繕。

中学校では、図書室、音楽室のエアコンの不具合。

園・小・中学校ともに、エアコンの修繕や設置の要望が多く、修繕については、出来るだけ早く対応しています。



スポットクーラー

避難所機能と教育への影響

問 中学校体育館は災害時の指定避難場所となっているが、猛暑が続く夏

場は、エアコンの無い体育館での避難は、熱中症対策からも難しい状況ではありませんか。

町長 体育館への本格的な空調導入は費用・技術面・断熱性能の低さから困難と考えます。

夏場の避難所としての利用は厳しい状況であることから、夏場は改善センター・公民館・ゆうあい館など既存の空調付き施設を避難所に使用し、必要に応じて学校校舎の一部を緊急的に避難所として使用する可能性もあります。

また近隣自治体とも連携し、相互支援体制を強化したいと思っています。

問 学校生活に支障はないのか伺います。

教育長 主に体育の授業や運動部活動が対象となりますが熱中症警戒アラート発令時は、活動場所です熱中症、暑さ指数計により、暑さ指数の計測を行い、33度以上の場合には活動の中止、33度未満の場合には、活動自体

は実施しますが、AEDの動作確認、教室を利用した救護所の設置及び指導者の緊急連絡用として携帯電話所持の3点を義務づけております。



体育館

また、熱中症特別警戒アラートが夏季休業中などに発令された場合には、部活動を含む全ての活動を中止し、加えて生徒自らも適切な体調管理や対応が出来るよう、学校での指導や助言に力を入れています。

学校生活に支障が全くないわけではありませんが、教員を含め、可能な範囲で努力しています。

選挙投票所

問 7月の参議院選挙の投票所となった際も、相当地暑さだったと思います。

町長 防災用スポットクーラーの冷房効果は限定的で、有権者の皆様、投票事務に従事した職員等においては、厳しい暑さの中での投票、あるいは事務従事であったと聞いております。

問 投票所の場所の変更を検討してはどうですか。

選挙管理委員会書記長 選挙管理委員会、施設管理者と協議したいと思っています。

備品の共有

問 空気清浄機やスポットクーラー、草刈り機など未活用備品の融通、共有をしてみてもいいですか。

町長 コロナ対策備品など学校で活用できるような共有体制を整備します。

町 政 の 課 題 を 問 う

一 般 質 問

松島和子 議員



難聴高齢者の早期発見、早期支援を

町長 医療機関への受診勧奨や可能な啓発から取り組む

難聴高齢者の支援

問 難聴は認知症など様々な疾患の発症リスクに関連するといわれているが、町はどのような支援を行っているこうと考えていますか。

町長 通所サービスや高齢者支援事業を通じて聞こえづらさに気づき、医療機関への受診勧奨を含め啓発を図っていきます。補聴器購入補助を行

う自治体が増えているが、町でも取り組む考えはありますか。

町長 国や県の動向を注視しながら、対応を検討していきます。

問 早期発見のために健診時のチェックリストや聴力検査、聞こえのチェックアプリなど、できることから取り組んでいけませんか。

健康保険課長 健診は委託で行っているので難しいが、自分で確認できるアプリなどは、今後機会を見て広報などの啓発、または健康栄養相談での受診勧奨などを行っています。

こども誰でも通園制度

問 来年度より始まるこども誰でも通園制度を町はどのように進めようと考えていますか。また、対象児は何人ですか。

町長 11月頃公布される内閣府令を受け、保育現場や関係機関と丁寧な調整を行いながら目的に

沿った運用ができるよう検討を進めます。対象児は37人です。

問 孤立する子育て対策としては、必要な対応でもあると思います。今までの園庭開放やわくわく広場でのつながりや経験を生かして、有用な制度にしていける可能性を感じるが、町はメリット・デメリットをどう考えていますか。

町長 子どもにとっては、家族以外の人と関わる機会を通じて成長・発達のための豊かな経験、保護者にとっては、育児の不安解消や負担軽減などがメリットだと思います。

デメリットは現場の負担増を懸念していますが、丁寧に調整しながら進めていきます。

学校給食無償化

問 令和7年2月、総理が国会答弁で、「令和8年度以降のできる限り早期の制度化を目指したい」と発言しましたが、今後どう進めていこうと考えて

ていますか。

教育長 制度ができれば本町でも実施することが可能になるので、引き続き動向に注視していきます。

問 無償化された場合、地元米の利用を引き続き行っていくつもりはありますか。

教育長 地元食材の提供は児童・生徒の食育や地域への愛着を育むうえで重要と考えます。

米や野菜、牛乳などの地元食材を提供できるよう努力していきます。



睦沢小学校 給食試食会

共生の町づくり

問 外国の方が、日本各地で様々な産業を支えてくれています。

日本に帰化された方や働いて暮らしている方を差別することは日本社会の発展にとってもマイナスです。

人間の在り方としても間違っていると思うが町長はどう考えますか。また、町には何名の外国の方が暮らしていますか。

町長 共生の町づくりは地域の活性化や国際化の推進にとっても重要だと認識しています。外国人に対する差別や偏見は一切持っていないです。

町には8月末現在76名の外国籍の方が在住しています。

ほとんどの方が就労し、特別な優遇は行っていません。相互理解を深めるために言葉の違いなどのサポートも行っています。

町政の課題を問う

一般質問

田邊明佳 議員



維持の困難な 今後の環境整備は

町長 区と相談します

環境整備

問 町の各所に設置された花壇の維持が高齢化・人手不足で困難となり、荒廃している所や、これからの維持について検討している話も聞きます。

町長 今後の環境整備方針を伺います。

花壇はふるさと創生事業で整備され、その後は各区の団体等の活動と補助金で維持していました。事業廃止後は自主

管理となり、高齢化や人手不足で厳しい状況にあります。町は管理を強要できず、維持・管理は状況に応じ、各団体等の方針に従わざるを得ません。

また、地域の環境整備は地域の状況に応じた方針を尊重しつつ、時代に合った支援策を検討・実施していきます。

問 花壇の撤去を望む声もあります。町の考えを伺います。

町長 多面的機能支払交付金を活用し維持を望みますが、撤去を希望する場合は管理者負担が原則となり、区長と相談し対応を検討します。

問 草刈りや散乱したごみ処理など地域負担は限界に達しています。

町長 町の一層の対応が必要ではないでしょうか。

建設課長 不法投棄は不法投棄監視員と今後連携を図りながら美化活動に努めます。

問 地域での維持が難しくなっており、従来の地域協力だけでは対応でき

ない状況になりつつあります。行政運営の方法や地域へのアプローチを抜本的に見直す必要があるのではないのでしょうか。

町長 人口減少と高齢者の移動手段の確保が課題であり、交通弱者対策を重視した町づくりが必要です。一極集中ではなく、道の駅周辺を中心に分散型のコンパクトシティを目指し、住みやすい町の構想を住民とともに模索していく考えです。



花壇

農業問題

問 水稻農家は米が高値になったにもかかわらず、高齢化や猛暑の影響で廃

業する話も聞きます。水田は防災・環境・生態系保全など重要な役割を担いますが、担い手不足やコスト高騰で維持が困難になっています。水田を守る方針と支援策を伺います。

町長 国・県と連携して機械導入などの支援や、町単独での支援を実施しています。また、新規就農者や担い手確保のため、現行支援に加え、窓口での相談支援を継続的に実施し、受け入れ体制を整えていきます。

問 新規就農は機械や施設の初期投資が非常に高額で、町の支援だけでは根本的解決になりません。窓口で相談支援を行っています。ネット検索で町の情報が出ないなど広報が不十分です。情報提供や民間団体との連携による定住促進など、体制の強化が必要ではないでしょうか。

町長 農地はあるものの住居が不足しており、民間農業塾を卒業した新規就農者が定着できず離れる例もあります。農用地

転用の枠拡大や空き家活用などにより、農業に従事する人の居住先・就農環境を整え、流出防止と定着促進に取り組む考えです。

問 農業者の全国平均年齢は令和6年で69.2歳に達しており、今後の10年が町の農業の行く末を決めると考えます。

新規就農や、大規模化だけでは管理や地域慣習の面で課題があるため、中・小規模も含めた多様な支援や、家族が継続して就農できる後押しとなる施策が必要ではないですか。

町長 町としては機械導入だけでなく、ほ場や水路、ポンプなどの整備や、農家が安心して営農できる環境づくりが重要と考えます。町と住民が協力し、将来「変えたから農業が残った」と言えるような持続可能な農業の方向性を模索します。

町 政 の 課 題 を 問 う

一 般 質 問

田中リエ 議員



誰一人取り残されないデジタル社会の実現について

町長 高齢者に対する思いはしっかりと施策に反映する

高齢者とデジタル社会

問 町民が豊かに暮らしていけるのは、高齢者の方々が戦後の日本を復興させる為に、身を粉にして頑張ってきたくださったからにほかなりません。

高齢者に対する思いを伺います。

また、子どもや孫たちと一緒に便利で楽しく暮らせる町にするために、デジタル機器の普及、分

かりやすい講習会の実施など、誰一人取り残されないデジタル社会の実現に力を入れていく考えはありますか。

町長 先人たちからバトンを受け取り子どもに渡していく。しっかりと引き継いでいかなければいけない。その思いを形にしたのが福祉タクシーなのかなと思っています。

高齢者に対する思いはしっかりと施策に反映していますのでご理解いただきたいと思っています。

福祉交流センターを拠点に、スマホ教室や健康若返り教室、むつざわさん歩の利用方法について周知しています。

高齢者向けのeスポーツ体験を試行的に実施するなど、デジタル機器の活用について支援をしているところです。

問 デジタル機器助成制度や気軽に聞ける相談所等も必要だと思いますがいかがでしょうか。

福祉課長 デジタル機器購入補助は、現段階にお

いて考えていません。国、県、他市町村の動向を見た中で検討していきます。

町では、緊急通報装置の貸出し、スマホ教室を毎月1回実施しています。さらに詳しく知りたいという方には、個別に日程を調整させていただきます。



高齢者向けeスポーツ体験

みどりの広場

問 子どもたちの遊び場や運動場として利用され、災害時には指定避難場所にもなっていますが、高い支柱や防球ネットに囲まれ、台風や地震によ

て倒壊し、重大な事故が起これないか心配する町民もいます。安全性に関して伺います。

建設課長 防球ネットの設計荷重は、国土交通省で示しており、平均風速38メートル毎秒と設計されています。

安全性には配慮した防球ネットですが、定期的な点検、事故の未然防止に努めてまいります。

防災設備

問 広場の中にどのような、防災設備があるか伺います。

町長 かまどベンチが1ヶ所、四阿は横幕を設置することで雨風を防ぐ防災シェルターに変身します。公衆トイレに加え、マンホールトイレを1基設置してあり、役場駐車場に設置されている耐震性貯水槽は災害時の生活用水の確保に役立つ施設となっております。

広場の有効活用には自主防災組織や住民同士の連携が欠

かせません。イベントに積極的に参加して防災知識を深める事が大切であると考えます。

問 防災フェアでかまどベンチの実演をしてみたいと思うのですが、いかがでしょうか。

総務課長 道の駅にも設置されており、そこで1回炊き出しの訓練をしています。今回、実演はありませんが、今後取り入れていきたいと思っています。



防災フェア

町政の課題を問う

一般質問

久我眞澄 議員



本町の米作り 今後の方針は

町長 持続可能な農業の確立
農地の多面的機能の維持

農業問題

問 農水省は米の生産体制の維持向上について、農地集積・規模拡大による効率化を推進するとしています。今後どのような方針で臨むのか伺います。

町長 国や県の動向を注視しながら、次世代農業の担い手育成・新規就農者への支援を継続して持続可能な農業の確立に努めます。

問 昨年来の米価高騰により、米に関心が高まっています。今こそ、兼業農業者や定年退職者等、多様な方々が参画できるように米作りを見直し、小規模農業が持続可能な環境を整える考えはありますか。

町長 産業としての農業だけでなく、農地の多面的機能の維持のためにも、農業・農村を支える多様な人材の確保にも努めたいと思っています。

問 大規模化・効率化は食料自給率・食料安全保障を確保する国の重要な施策ですが、担い手不足・人口減少・二極集中を加速させる要因とも考えます。町の稲作環境が産業として適合していけるのでしょうか。

町長 今、社会環境が大きく変わり、70歳まで働ける方が多いようです。小規模農業の担い手や新規就農者をしっかり受け止めなければ、今の耕作面積を維持することはできません。国の方針である集約化・

大規模化にある程度乗るべきだろうと思っています。集約を進めるなかで、小規模にも大規模にも補助ができるような体制を整えています。環境保全のための農地を守っていききたいと考えています。

問 田の水回りがよくないと管理に大変な手間がかかり維持が難しくなります。大規模化とは別な田への資金投入が、小規模農家を守っていくことになりませんか。

町長 それこそ多面的機能支払交付金事業を使って水路等を予算があればしっかりと、耕作者ではなく耕作地の環境を整えることで、農業をやりたいという人の意欲を向上させるような補助づくりができれば一番いいのかなと思っています。

問 多面的機能支払交付金の対応見直しも視野に入れて、より活用を高める検討が可能ですか。

町長 本制度は、①共同活動による農地維持

②農業施設等の補修

③施設の長寿命化

の3種類からなり、実施主体は各区長が役員となっている「農地・水・環境保全管理協定運営委員会」で、国の制度による事業です。国の制度改正があればそれに準じて見直しを検討したいと思います。



水路

ふるさと納税

問 現行の寄附申出書の様式は、具体的事業を支援する様式になっていないが、寄附者が直接具体的事業に寄附をし、事業を応援するような方式に変

更することは可能ですか。

町長 様式自体に具体的事業を記載することは可能です。事業の支援ということであればクラウドファンディング型ふるさと納税という手法も考えられます。税控除も受けられ、返礼品も出すことができます。

寄附金の増加や町の情報発信にもつながるので前向きに検討します。

問 事業に対する支援はホームページでのPRだけでは難しいと思われます。事業主体となる団体メンバーによる知人・友人・親族等に直接支援内容を知りかかるときの多様な工夫で、支援の輪が広がっていくかと思いますが、いかがでしょうか。

企画財政課長 事業支援の形について前向きに検討します。

議会活動日誌

月 日	行 事 内 容	月 日	行 事 内 容
8月	1 決算審査並びに財政健全化等審査(4日)	9月	22 例月出納検査
	3 商工会青年部盆踊大会		九十九里地域水道企業団例月出納検査
	7 公立長生病院運営委員会		24 決算審査特別委員会正副委員長、正副議長会議
	11 長生郡町村議会議長会臨時会		25 議員全員協議会・議会だより編集特別委員会(第186号)
	長南町花火大会		26 長生広域決算審査特別委員会
	15 みたま祭	10月	30 広域組合廃棄物減量等推進審議会
	20 九十九里地域水道企業団理事会		3 西消防署庁舎建設工事起工式
	21 議会運営委員会・議員全体会議・議員全員協議会		4 こども園運動会
	25 例月出納検査		5 町防災訓練
	28 長生郡町村議会議員・事務局職員合同研修会		6 長生郡市議員会第1回地区交流会
	29 長生広域組合議会運営委員会・定例会		8 議員全員協議会・議会改革特別委員会
	長生病院の経営に関する調査研究特別委員会		議会だより編集特別委員会(9日、23日)
9月	1 九十九里地域水道企業団例月出納検査		16 千葉県町村議長会決算審査
	4 第3回議会定例会(5日、25日)		18 睦沢小学校運動会
	議会改革特別委員会		19 いすみ市市政施行20周年記念式典
	5 決算審査特別委員会(17日、18日、25日)		22 長生広域視察研修(23日)
	厚生文教常任委員会(18日)		23 睦沢中学校紅葉祭
	16 社会を明るくする運動睦沢町推進委員会		27 九十九里地域水道企業団例月出納検査
	19 長生郡町村議会議長会臨時会		28 町議会視察研修(29日)

議会を傍聴しませんか

第4回(12月)定例会は
12月8日(月)から開催の予定です。

また、インターネットでもご覧いただけます。

詳しくは、議会事務局
☎44-2510へお問い合わせください。

睦沢町 LINE公式アカウント

睦沢町では、LINEを新たな広報手段として活用し、さまざまな情報を幅広く発信しています。

睦沢町議会が発行する議会だよりも、LINEで見ることができるようになりました。
QRコードを読み取り、LINE登録をお願いします。



厚生文教常任委員会では、こども園空調設備の更新等がここ数年頻繁にあったことから、こども園に設置された空調機等を調査し、予算措置に係る要望書を提出しました。

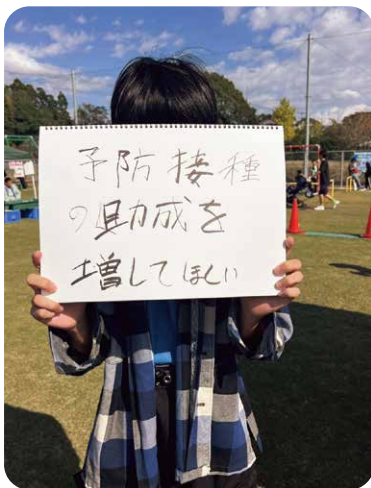
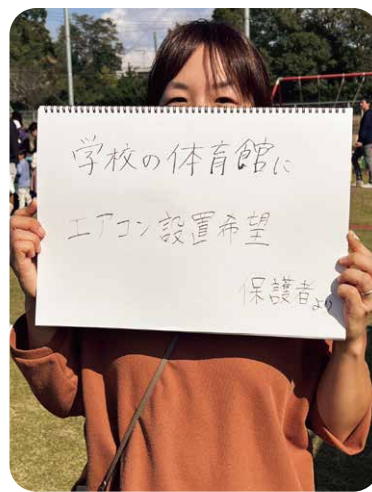
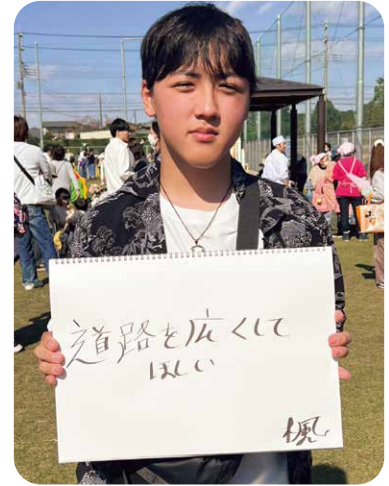


田中町長 田邊厚生文教常任委員長 麻生議長

・農林商工まつり
・観光まつりで



町への希望を、
聞いて
きました!!



編集後記

9月議会は、主に昨年度の決算認定についてでした。決算の一連の流れとして、会計管理者が作成した決算書を監査委員が審査し、その意見を添えて町長から議会に提出され、議会で審議・採決されます。

決算書とは？歳入歳出予算に基づき収入と支出の結果を表したものになります。予算が適正に使われたのか、住民にとって効果的な事業が行われたのか、経済的効果はあったのかなど、決算書や提出された資料をもとに議場での質疑や決算審査特別委員会の中で、議員全員で審査を行いました。

審査を通じて明らかにした課題を、次年度の予算編成や財政運営に反映してもらう事で、より効率的で健全な財政運営や住民サービスが行われることを期待いたします。

三橋優一記

